265	18	題号不明	加倉井秋を	265	言語	石蕊掻きすぐにどこかへゐなくなる	2022	『新版　角川俳句大歳時記　春』	720	￥50	￥1	￥1	春
266	18	題号不明	加倉井秋を	266	言語	石蕗を掻き一切のこと身を離れ	2008	『俳句歳時記　第四版』	242	￥50	￥1	￥1	春
267	18	題号不明	加倉井秋を	267	言語	しづけさの極みに袷の襟合はす	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	154	￥45	￥1	￥1	夏
268	18	題号不明	加倉井秋を	268	言語	線路越えつつ飯饐える匂ひせり	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	175	￥45	￥1	￥1	夏
269	18	題号不明	加倉井秋を	269	言語	花茣蓙に母の眼鏡がおいてある	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	208	￥45	￥1	￥1	夏
270	18	題号不明	加倉井秋を	270	言語	蝿帳を置く場所として拭いてゐる	2008	『俳句歳時記　第四版』	308	￥45	￥1	￥1	夏
271	18	題号不明	加倉井秋を	271	言語	曲ることなき毒消売の道	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	237	￥45	￥1	￥1	夏
272	18	題号不明	加倉井秋を	272	言語	或る晴れた日の繭市場思ひ出す	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	263	￥45	￥1	￥1	夏
273	18	題号不明	加倉井秋を	273	言語	キャンプの火こころのごとく掻きたてる	2008	『俳句歳時記　第四版』	331	￥45	￥1	￥1	夏
274	18	題号不明	加倉井秋を	274	言語	家に隅ありて捕虫網たてかける	2008	『俳句歳時記　第四版』	336	￥45	￥1	￥1	夏
275	18	題号不明	加倉井秋を	275	言語	待つ明るさ夏うぐひすの次の声	2019	『俳句歳時記　第五版』	394	￥45	￥1	￥1	夏
276	18	題号不明	加倉井秋を	276	言語	海月赤し曲馬の天幕［てんと］のどこかの色	2001	『戦後秀句Ⅱ＜新版＞日本秀句10』	6	￥45	￥1	￥1	夏
277	18	題号不明	加倉井秋を	277	言語	妻病みて髪切虫が鳴くと言ふ	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	468	￥45	￥1	￥1	夏
278	18	題号不明	加倉井秋を	278	言語	駅降りてすぐに蜜柑の花の中	2008	『俳句歳時記　第四版』	414	￥45	￥1	￥1	夏
279	18	題号不明	加倉井秋を	279	言語	青葡萄島の祭に映画あり	2008	『俳句歳時記　第四版』	416	￥45	￥1	￥1	夏
280	18	題号不明	加倉井秋を	280	言語	桐咲けば洋傘直し峡に来る	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	557	￥45	￥1	￥1	夏
281	18	題号不明	加倉井秋を	281	言語	掌をあてて散る枝散らぬ枝麝の花	2008	『俳句歳時記　第四版』	430	￥45	￥1	￥1	夏
282	18	題号不明	加倉井秋を	282	言語	晩年や黒穂の黒に指染まり	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	647	￥45	￥1	￥1	夏
283	18	題号不明	加倉井秋を	283	言語	初秋や子の描く汽車に煙も描く	2017	『昭和俳句作品年表（戦後篇）』	44	￥46	￥1	￥1	秋
284	18	題号不明	加倉井秋を	284	言語	月明の東西の門うち対ふ	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	85	￥46	￥1	￥1	秋
285	18	題号不明	加倉井秋を	285	言語	数言へて言つてゐる子や十三夜	2017	『昭和俳句作品年表（戦後篇）』	29	￥46	￥1	￥1	秋
286	18	題号不明	加倉井秋を	286	言語	秋風に吹かれ胡桃の木とわれと	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	112	￥46	￥1	￥1	秋
287	18	題号不明	加倉井秋を	287	言語	ここは信濃昏［くち］もて霧の灯を数ふ	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	131	￥46	￥1	￥1	秋
288	18	題号不明	加倉井秋を	288	言語	赤い羽根つけてどこへも行かぬ母	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	169	￥46	￥1	￥1	秋
289	18	題号不明	加倉井秋を	289	言語	富士にまだ明るさ残る門火焚く	2008	『俳句歳時記　第四版』	561	￥46	￥1	￥1	秋
290	18	題号不明	加倉井秋を	290	言語	二科を見る石段は斜めに登る	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	203	￥46	￥1	￥1	秋